

PASSERBY IDENTIFYING DEVICE

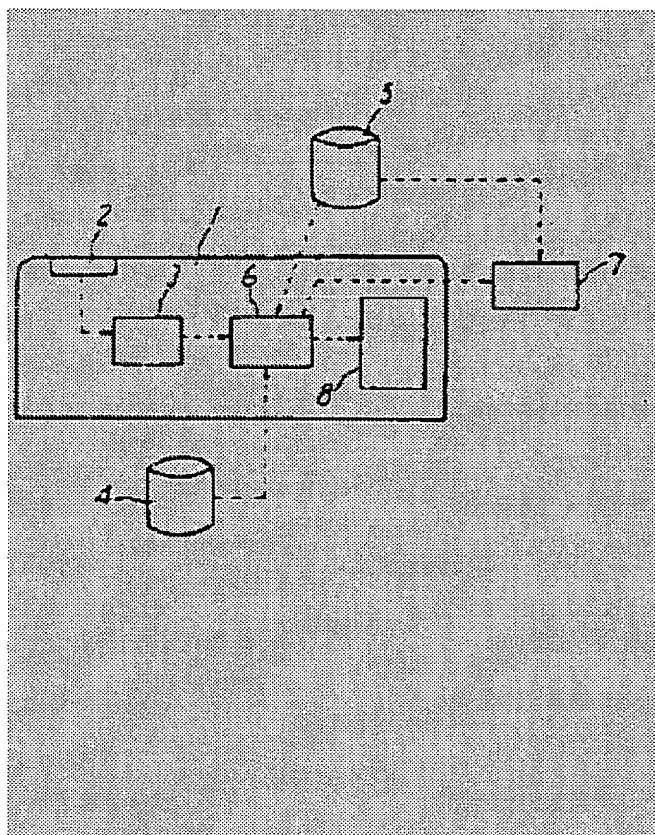
Patent number: JP2096299
Publication date: 1990-04-09
Inventor: TOCHIGI TAKAO
Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP
Classification:
- **International:** G06F15/21; G07B11/00
- **European:**
Application number: JP19880248353 19880930
Priority number(s): JP19880248353 19880930

Report a data error here

Abstract of JP2096299

PURPOSE: To eliminate a need of purchase of a pass at each time of passage and to prevent a passerby from illegally passing with others' pass or the like by constituting an identifying device so that it is discriminated whether the passerby an pass or not by his fingerprint to charge a toll.

CONSTITUTION: When the passerby who will a part partitioned with a device main body 1 presses his finger to a finger pressing part 2, its fingerprint information is transferred to a fingerprint analyzing means 3. The means 3 performs pattern recognition of fingerprint and gives fingerprint information to a passage discriminating means 6, and the means discriminates the passerby by a fingerprint data base 4. A corresponding prescribed account is retrieved from a banking data base 5, and fingerprint information is sent to a toll charging means 7 when a passage condition is satisfied. The means 7 takes the toll from this account. When the means 6 judges that the passerby can pass, a passage inhibiting means 8 is not operated, and the passerby can pass the part partitioned with the main body 1.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平2-96299

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)4月9日

G 07 B 11/00
G 06 F 15/21Z 7347-3E
7165-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 通行者識別装置

⑯ 特 願 昭63-248353

⑰ 出 願 昭63(1988)9月30日

⑱ 発 明 者 栃 木 隆 雄 兵庫県神戸市兵庫区和田崎町1丁目1番2号 三菱電機株式会社制御製作所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

通行者識別装置

2. 特許請求の範囲

装置本体により仕切られた所を通行し、利用料の必要な所へ入場したい通行者が指を押し付ける指押付部、この指押付部に押し付けられた指の指紋パターンを認識する指紋分析手段、この指紋分析手段で得られた指紋パターンの情報と、あらかじめ保有した指紋情報及びこれに対応した通行条件とから、上記通行者の通行可否を判断する通行判定手段、この通行判定手段が通行不可と判断したとき上記通行者が上記装置本体により仕切られた所を通行するのを阻止する通行阻止手段、および上記通行判定手段により通行可と判断された上記通行者に対して上記利用料を請求するための出力を出す利用料請求手段を備えた通行者識別装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は例えば駅の改札や映画館の入口など

利用料の必要な場所の出入口に設置され通行者の指紋を識別することにより、通行者の通行の可否を判断する通行者識別装置に関するものである。

〔従来の技術〕

第2図は従来の通行者識別装置の一つである自動改札装置の概略構成を示す側面図、第3図は第2図の平面図である。図において、(1)は通行者を仕切るための装置本体、(9)は改札の対象となる通行券の投入口、(10)は投入口(9)より投入された通行券の有効性を識別し判断する券識別部、(11)は券識別部(10)で識別判断された後通行者へ通行券を返却するための出券口、(8)は券識別部(10)で券が無効であると判断した場合、通行者の進行を阻止する通行阻止手段であり、第3図の(8a)に示すように通行者の進行方向に対し直角方向に停止板を出すものである。

次に動作について説明する。通行者は装置本体(1)により仕切られた所を通行したい場合、別途購入した通行券を投入口(9)へ投入するこの投入された通行券は図示しない搬送手段により自動的に券識

別部(10)へ転送され、券識別部(10)は通行券に記載された情報を読みとり通行券の有効性を判断する。

券識別部(10)で通行券が無効であると判断した場合には、通行阻止手段(8)が直ちに駆動し、第3図(8a)に示すように通行者の進行方向に対し直角方向に突出して通行者の進行を阻止する。また通行券が有効であるならば、通行券は通行者は返却するために出券口(11)へ転送され、通行阻止手段(8)は駆動せず通行者の進行を許可する。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来の通行者識別装置の一つである自動改札装置は、以上のように構成されているので、通行者は必ず通行券を別途購入、あるいはそのつど購入し、保持しておく必要があり、また、従来の装置は、通行者の許可でなく、通行券の有効性を判断しているにすぎないため、他人の通行券を使用するなど不正通行を見逃してしまい他、通行券を紛失すると通行できないなどの課題があつた。

この発明は上記のような課題を解決するためにな

されたもので、通行者は通行券を購入し保有する必要があるとともに、通行者そのものの通行可否を判断することにより不正通行を防止することができる通行者識別装置を得ることを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

この発明に係る通行者識別装置は、装置本体により仕切られた所を通行し、利用料の必要な所へ入場したい通行者が指を押し付ける指押付部、この指押付部に押し付けられた指の指紋パターンを認識する指紋分析手段、この指紋分析手段で得られた指紋パターンの情報と、あらかじめ保有した指紋情報及びこれに対応した通行条件とから、上記通行者の通行可否を判断する通行判定手段、この通行判定手段が通行不可と判断したとき上記通行者が上記装置本体により仕切られた所を通行するのを阻止する通行阻止手段、および上記通行判定手段により通行可と判断された上記通行者に対して上記利用料を請求するための出力を出す利用料請求手段を設けたものである。

〔作用〕

この発明における通行者識別装置は、指押付部に押し付けられた通行者の指の指紋パターンを指紋分析手段で認識した情報と、あらかじめ保有した指紋情報に対応した通行条件とから、通行判定手段により、上記通行者の通行の可否を判断し通行不可の場合は通行阻止手段により上記通行者の通行を阻止するとともに、通行可と判断した上記通行者に対して利用料請求手段により利用料を請求するための出力を出す。

〔発明の実施例〕

以下、この発明の一実施例を図について説明する。第1図において(1)は通行者を仕切るための装置本体、(2)は装置本体の入口側に設けられた指押付部、(3)は指押付部(2)に押し付けられた指の指紋を分析する指紋分析手段、(4)は指紋情報から該当人物を対応づける情報を蓄えた指紋データベース、(5)は該当人物の取引金融機関や口座番号及び残高の情報を蓄えた金融データベース、(6)は指紋分析手段(3)から送られてきた指紋分析情報と指紋データベース(4)と金融データベース(5)の情報を比

較及び調査し、通行者の通行可否を判断する通行判定手段、(7)は通行判定手段(6)が通行可と判断した場合、通行者の金融情報をもとに通行者の取引金融機関の所定口座に対して利用料を請求する出力を出す利用料請求手段、(8)は通行判定手段(6)が通行不可と判断した場合、従来のものと同様に上記通行者の通行を阻止する通行阻止手段である。

上記のように構成された通行者識別装置においては、装置本体(1)により仕切られた所を通行したい通行者が指押付部(2)に指を押しつけると、指押付部(2)は押し付けられた指の指紋情報を得て指紋分析手段(3)へ転送し、指紋分析手段(3)は指紋をパターン認識して指紋情報を通行判定手段(6)に与える。通行判定手段(6)は指紋分析手段(3)から送られてきた指紋情報をもとに指紋データベース(4)から通行者を割り出し、金融データベース(5)から該当人物の指紋情報に対応している金融機関の所定口座を検索し、通行料分の残高があるかチェックし、通行条件を満足している場合には、通行可と判断し

利用料請求手段(7)へ指紋情報を送る。

利用料請求手段(7)は、指紋情報に該当する口座より利用料を引き去る。ここで通行判定手段(6)が通行可と判断した場合、通行阻止手段(8)は作動せず、通行者は装置本体(1)で仕切られた所を通行することができる。

また、通行判定手段(6)が通行不可と判断した場合、阻止手段(8)が作動して、従来のものと同様に通行者の通行を阻止する。

尚、上記実施例では、通行阻止手段(8)は通常は通行を阻止しない状態になっており、通行判定手段(6)が通行不可と判断した時に作動して通行者の通行を阻止する場合について説明したが、逆に通行阻止手段(8)は通常通行を阻止する状態にして、通行判定手段(6)が通行許可と判断した時作動して通行を可能にすることで、例えば通行者が指押付部(2)に指を押し付けずに通行するような場合でも通行者を識別でき、その他手段は上記実施例と同様の働きをする。

また、上記実施例では、この発明の通行者識別装

置を駅の改札に実施した場合について説明したが、例えば映画館入口など利用料の必要な所への入口で所定の条件により通行の可否が決められる所には全て適用でき、上記実施例と同様の効果を奏する。

また、上記実施例では、利用料請求手段(7)が通行者が通行するとに通行者の金融口座に対して利用料を請求する場合について説明したが、利用料請求手段(7)は例えば1ヵ月ごとなどでまとめて請求したり、請求書を発行したりするものであつてもよく、上記実施例と同様の効果を奏する。

〔発明の効果〕

以上のようにこの発明によれば通行者の指紋で通行可否の判断を行ない利用料を請求するように通行者識別装置を構成したので、通行のつど通行券を購入する必要がなく、又通行券を保持する必要がなく、さらに他人の通行券で通行するなどの不正通行を防止することができるものが得られる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

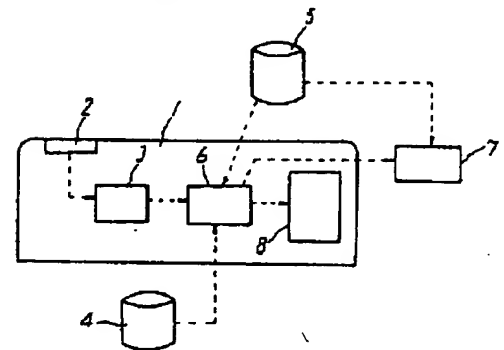
第1図はこの発明の一実施例による通行者識別装置を示す概略構成図、第2図は従来の通行者識別装置の一つとしての自動改札装置の概略構成を示す側面図、第3図は第2図の平面図である。

図において、(1)は装置本体、(2)は指押付部、(3)は指紋分析手段、(6)は通行判定手段、(7)は利用料請求手段、(8)は通行阻止手段である。

なお、図中、同一符号は同一、又は相当部分を示す。

代理人 大 岩 増 雄

第1図

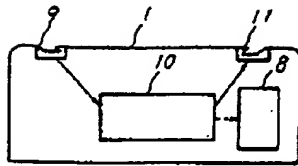


- 1:装置本体
- 2:指押付部
- 3:指紋分析手段
- 6:通行判定手段
- 7:利用料請求手段
- 8:通行阻止手段

手続補正書(自発)

平成 1 1 24
昭和 年 月 日

第 2 図



特許庁長官殿

1. 事件の表示

特願昭 63-248353 号

2. 発明の名称

通行者識別装置

3. 補正をする者

事件との関係

特許出願人

住所

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

名称

(601) 三菱電機株式会社

代表者 志岐守哉

4. 代理人

住所

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

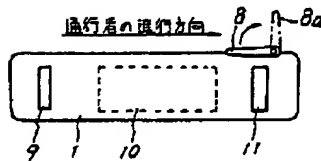
三菱電機株式会社内

氏名

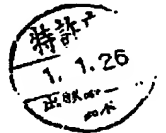
(7375) 弁理士 大岩増雄

(連絡先 03(213)3421 特許部)

第 3 図



方式
審査



5. 補正の対象

- (1) 明細書の特許請求の範囲の欄
- (2) 明細書の発明の詳細な説明の欄
- (3) 明細書の図面の簡単な説明の欄

6. 補正の内容

- (1) 明細書の特許請求の範囲を別紙のとおり訂正する。
- (2) 明細書の第2頁第2行、第4頁第9行、10行、11行、12行、第5頁第2行、4行、14行、15行、16行、18行、19行、第6頁第12行、13行、14行、15行、16行、18行、第7頁第1行、2行及び第8頁第13行に「指紋」とあるのを「指紋」に訂正する。
- (3) 同書の第3頁第8行に「通行者は」とあるのを「通行者に」に訂正する
- (4) 同書の第9頁第6行に「指紋」とあるのを「指紋」に訂正する。

7. 添付書類の目録

- (1) 補正後の特許請求の範囲を記載した書面 1通

以上

特許請求の範囲

装置本体により仕切られた所を通行し、利用料の必要な所へ入場したい通行者が指を押し付ける指押付部、この指押付部に押し付けられた指の指紋パターンを認識する指紋分析手段、この指紋分析手段で得られた指紋パターンの情報と、あらかじめ保有した指紋情報及びこれに対応した通行条件とから、上記通行者の通行可否を判断する通行判定手段、この通行判定手段が通行不可と判断したとき上記通行者が上記装置本体により仕切られた所を通行するのを阻止する通行阻止手段、および上記通行判定手段により通行可と判断された上記通行者に対して上記利用料を請求するための出力を出す利用料請求手段を備えた通行者識別装置。

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2000-317731
起案日	平成17年12月 5日
特許庁審査官	奥 直也 8609 3R00
特許出願人代理人	池内 寛幸 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

理由1

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

【請求項1、2、4、5、7、8、9及び10】

「・・・記録媒体の最初の利用時・・・」という記載では、どのような利用を指すのか不明で、発明の構成を特定できない。例えば、「記録媒体の利用」ということであれば、その記録媒体に何らかの情報を記録した時点が、記録媒体としての「最初の利用」である、と認めることができる。

また、請求項1、4、7、8、9及び10に関しては、「・・・二回目以降の使用時・・・」という記載についても、同様に不明りょうである。

よって、請求項1、2、4、5、7、8、9及び10に係る発明は明確でない。

理由2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における

通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

【請求項1、7及び9】

「記録媒体の最初の利用時」が、その記録媒体に何らかの情報を記録した時点であるとすれば、引用文献1には、請求項1、7及び9に記載の発明と同様の構成を有する利用者確認システム、方法及び記録媒体が記載されている。特に、【0007】、【0021】、【0023】等の記載を参照されたい。

【請求項4、8及び10】

データベースに登録された情報と、検出した情報との照合によって、登録している者の確認を行うことは、引用文献2に記載されており、この構成を上記引用文献1に記載のものに組み合わせて、請求項4、8及び10に記載の発明のように構成することに格別の困難性があるとは認められない。

引用文献等一覧

1. 特開平10-283465号公報
2. 特開平02-096299号公報

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

- | | |
|---------|-------------------------------|
| ・調査した分野 | I P C 第 7 版 G 0 7 B 1 5 / 0 0 |
| ・先行技術文献 | 特開平10-154248号公報 |
| | 特開平11-175782号公報 |
| | 特開平11-175780号公報 |
| | 特開昭62-189261号公報 |
| | 特開2000-215172号公報 |
| | 特開2000-259278号公報 |
| | 特開平11-134477号公報 |

整理番号 0095299

発送番号 462053 3/E

発送日 平成17年12月13日

特開平10-312462号公報

特開平03-292582号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第2部 サービス・安全 奥 直也

TEL. 03 (3581) 1101 内線3383

FAX. 03 (3501) 0672